

令和3年度 学校推薦型選抜Ⅰ（家政）出題意図【問題1～問題2】

一人ひとりの子どもが健やかに育つためには、健やかな育ちを子どもが有する権利として保障し、実効あるものとする必要がある。そのために大人が守るべき事項を定めた児童憲章、および子どもの権利を保障する上で必要な内容を定めた子どもの権利条約の重要性を理解し、これらに基づいて日本の子どもたちに必要な支援を考察できるか、という観点から評価する。

問題1.

- (1) 人 (2) 社会 (3) 環境

問題2.

(1)

- ① 出題文の意図を正確に読み取り、各側面を説明できるか。
② 子どもの権利条約における「4つの柱」(*) は次の通りである。

4つの柱	内 容
生きる権利	子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、健やかに成長する権利をもつ。
育つ権利	子どもたちは休んだり遊んだりしながら、教育を受け、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長する権利をもつ。
守られる権利	子どもたちは、あらゆる種類の差別や虐待、搾取から守られる権利をもつ。障害をもつ子ども、少数民族の子どもなどは特別に守られる権利をもつ。
参加する権利	子どもたちは、自分に関係のある事柄について自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり、活動する権利をもつ。

(*) 日本ユニセフ協会 HP (https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html)

(2)

- ① 出題文の意図を正確に読み取り、自分の言葉で表現できるか。
② 以下のような状況を2つ以上挙げているか。
- ・児童虐待
 - ・子どもの貧困
 - ・障害のある子どもや無国籍状態にある子どもの人権侵害
 - ・医療的ケア児の就学拒否
 - ・子どもの外遊び空間の減少 など

令和3年度 学校推薦型選抜I（家政）出題意図【問題3】

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。17のゴール・169のターゲットから構成され、12番目の目標には「持続可能な消費生産形態を確保する」ことが掲げられている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本も積極的に取り組んでいる。このような生活に関わる現代的な事柄に対して、実践していること、および、今後実践したいことについて自らの考えを表現できるかを問うために出題した。

なお、解答は、上述について人や社会、環境、地域に対する責任という視点から具体的に論じられているかを見る。